

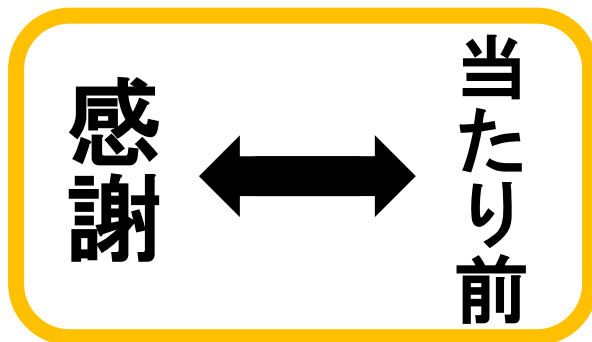
Grow Up



■ ハートフルデー(10月27日(土))

今回のハートフルデーで、2年生は「たんじょうび」という教材で道徳の時間を行いました。自分や周りの人、日本のこと以外にも自分たちが暮らしている社会に視野を広げ、世界の中の日本人として、世界の平和と人類の発展のために、今の自分に何ができるのか考えました。子どもたちは今回の時間の中で、戦時下にいる男の子の写真からたくさんのことを考えました。

普段、当たり前のように生活していると、本当は有難いことに対しても、感謝する機会は少ないと思います。「当たり前に行っていること、与えられていることってどんなことがありますか？」例えば、挨拶をする友達がいること、ご飯が食べられること、蛇口をひねれば水が出ること、学校に行けること、勉強ができること、帰る家があること、安心して寝られること。当たり前に行っていることに、「有難い」と思うことはなかなかありません。今回の授業で、「そんな当たり前のこと感謝すること」に気付くことができたのではないのでしょうか。



■ 文化講演会、PTA バザー

山口大学医学部の松山豪泰教授から、最先端の医療技術についての貴重な話をうかがいました。医療の技術の発展は、医者だけが知っていれば良いということではなく、これから医療を受ける側にも選択する力が必要であるということを感じました。そのためにも、自分とは関係がないと思っている情報も理解しておくことが大切であるということがわかりました。

文化講演会の後は、毎年恒例のお楽しみPTAバザーでした。PTAボランティアの方の協力で、たくさんの出し物や食べ物を用意していただきました。子どもたちの楽しそうな様子を見ることができました。こうやって、私たちの学校行事を支えてくれる人たちの存在も当たり前ではなく、改めて感謝をしてみるとよいのではないのでしょうか。

入れー!!!

